2025 年度「ミュージアム・リレー」

―豊かな自然と文化に恵まれた西さがみ地域だからできる、ここだけのお得な体験が続々―

ミュージアム・リレーとは？

シンボルマーク

神奈川県西部地域のミュージアム施設が相互交流を通じて生涯学習時代にふさわしい「開かれたミュージアム」のあり方を探求するために平成８年に「神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会（通称：WESKAMS）」が設立されました。その加盟施設が、施設の特色を活かした特別な企画や、スタッフによる分かりやすい解説を行う、リレー形式の催しです。ミュージアムに親しみ、理解を深める機会としていただけますよう、皆さまのご参加をお待ちしております。

※感染症等の状況により、イベントや解説の中止、定員の見直しが生じる場合があります。最新の情報は各施設にお問い合わせください。

【お申込み方法】施設ごとに指定の方法でお申し込み下さい。
〇電話・メールの場合（先着順）：参加人数、参加者全員の住所・氏名・電話番号をお伝えください。
〇往復葉書の場合（抽選）：次の内容を書いてお申し込みください。（締切日必着です）
往信面：①参加希望の館園名、②参加人数、③参加者全員の住所・氏名・電話番号
返信面：①申し込まれた方の住所・宛名
〇博物館ウェブサイトの申込フォームの場合（抽選）：フォームに従い、必要事項を入力してください。

＊ 特に記載のない限り各開催日の３か月前から受け付けます。　＊ 各施設、お１人・１グループにつき１回の申込みでお願いします。
＊ 開催場所への移動は各自でお願いいたします。　＊ 別途、駐車料金がかかる場合があります。

第 353 走	**4月 18 日（金）10:00～12:00　【箱根ビジターセンター】**
春の暖かくなり始める季節、ビジターセンター周辺の自然の目覚めを感じる観察会を、のんびりお散歩しながら開催します。見頃を迎えたマメザクラやヤマザクラといった桜の花、ミツバツツジやたくさんの種類があるスミレの仲間、美しい花や芳しい香り、更には南の国からやって来た色鮮やかな夏鳥や春を待ち望んだ留鳥の囀（さえず）り、賑やかなカエルの声などなど…。五感をフルに使い箱根の春を満喫しましょう。歩きに自信のない方や小さなお子様も皆さん大歓迎です。ご家族、お友達お誘い合わせの上ご参加ください。	
定員・参加費	20 名・1,000 円(解説付き)　　※定員に満たない場合、当日受付も可
申込方法	電話かメールで４月 11 日（金）まで　Tel.0460-84-9981　メール:hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp

第 354 走	**5 月９日（金）**		
10:00～12:00　【箱根美術館】	**13:00～13:50　【箱根写真美術館】**	**14:00～15:30　【箱根強羅公園】**
縄文土器や埴輪、鎌倉・室町時代の備前・常滑・信楽などの六古窯の壺・甕など、「やきもの」を中心に展示する美術館（登録有形文化財）。あわせて新緑の苔とモミジの苔庭、巨岩と渓流の石楽園、竹庭など、国の名勝に指定された美しい庭園を併設しています。美術館の 3 階には創立者岡田茂吉が細心の注意を払って設計した来賓室があり、当日は特別に入室いただきスタッフがご案内いたします。	箱根写真美術館は、箱根出身の写真家・遠藤柱が撮り続ける富士山作品を常設する個人立の美術館として 2002 年に開館いたしました。昨年、展示室を拡充しリニューアルオープン。常設展および企画展の作品鑑賞および展示解説をいたします。	強羅駅から徒歩約５分にある「箱根強羅公園」は 1914 年に開園し、110 年を超える歴史を有しています。シンボルであるヒマラヤ杉や噴水池をはじめ、登録有形文化財のお茶室「白雲洞茶苑」や熱帯植物、ブーゲンビリア館などをお楽しみいただけます。当日は箱根町花にも認定されている約 20 本のハコネサンショウバラをはじめ、歴史あふれる園内を、スタッフが丁寧にガイドします。
定員・参加費	30 名・3 館で 1,600 円（通常 2,580 円）　※３館共通の申し込みとなります	
申込方法	電話で５月６日（火）必着　　Tel.0460-82-2623　箱根美術館リレー係　宛	

第 355 走	**6月４日(水) 10:00～11:00　【箱根町立箱根ジオミュージアム】**
館内見学と屋外観察会（悪天候時は中止）を予定しております。館内見学では箱根の温泉や火山の形成史、火山の観測についての紹介や大涌谷の硫黄や岩石の標本等を観察します。屋外観察会では展望台から見える大涌谷の噴気や蒸気井をはじめ、周辺の箱根火山や富士山等の地形を解説します。（※大涌谷自然研究路への引率入場をご希望の方は、別途お申込みください。）	
定員・参加費	20 名・100 円（解説付き）（※対象：小学生以上）
申込方法	電話かメールで６月３日（火）まで　　Tel.0460-83-8140 メール:geo-museum@town.hakone.kanagawa.jp お車でお越しの方へ：駐車場待ちで渋滞の可能性があります。 ロープウェイでお越しの方へ：強風等で運休する場合があります。

第 356 走	7月9日(水)	
10:00～12:00　【はこにわ/箱根ドールハウス美術館】		**13:30～14:30　【箱根駅伝ミュージアム】**
自然の中のミュージアムパーク「はこにわ」は、2023 年にオトナもコドモも楽しめるアート体験型複合施設としてリニューアルオープンしました。その中心にある箱根ドールハウス美術館では、「小さな家」を意味する 1/12 サイズを基準に再現された、ミニチュアの家や家具調度品を 100 点以上常設しています。今回のリレーでは作品の奥深さや歴史を知れるギャラリートークを実施いたします。さらに、箱根工芸品やミニチュア専門のショップや自然の中のカフェ、大人も子供も楽しめ、実際に乗れる AC コブラのミニ版「ミニコブラ」やミニ SL 鉄道も体験できます。ぜひ、ご来館ください。		2024 年第 100 回大会を迎えた箱根駅伝。1920 年の第 1 回大会から今日に至るまで、数々の名場面を生みだした箱根駅伝の歴史にふれることができます。各大会の名シーンを記録した貴重な写真や、往年の名選手が愛用した品々、そして真剣勝負の裏側にあるさまざまなエピソードなどを、テーマで区切り展示してあります。箱根駅伝の歴史をお楽しみください。
定員・参加費	20 組（最大 40 名）・大人 1,200 円、中高大生 1,000 円、小学生 600 円（通常 大人 1,800 円、中高大生 1,500 円、小学生 1,200 円）	20 名・550 円（通常 大人 650 円）
申込方法	メールで 7 月 2 日（水）17 時まで（先着順）　メール：dollhouse@pierota.co.jp　(宛名)はこにわ/箱根ドールハウス美術館 （お問合せ）Tel.0460-85-1321　受付時間：10 時～17 時、火曜日定休	電話で 7 月 8 日（火）午前中まで Tel.0460-83-7511

第 357 走	8 月 1 日(金)　10:00～12:00　【箱根湿生花園】
箱根仙石原にある植物園。湿原をはじめとして、河川や湖沼などの水湿地に生育する植物を観察することができます。当日は、この時期に見頃を迎えるサギソウ、コオニユリ、シラヒゲソウ、レンゲショウマといった夏の湿原を代表する植物を職員の解説によりご案内します。人気企画となっている食虫植物の展示も詳しくご紹介します。	
定員・参加費	20 名・ 大人 350 円、小人（小学生）200 円（通常 大人 700 円、小人（小学生）400 円）
申込方法	電話で 7 月 31 日（木）17 時まで　Tel.0460-84-7293

第 358 走	8 月 22 日(金)　13:15～14:45　【神奈川県立生命の星・地球博物館】
地球の誕生から現在までの 46 億年にわたる歴史と生命の多様性をわかりやすく、巨大な恐竜やいん石から豆粒ほどの昆虫まで 1 万点にのぼる実物標本を展示しています。当日は特別展「初三郎式、かながわの描き方ー地形表現の科学（仮称）」を学芸員がご案内します。吉田初三郎・作「神奈川県鳥瞰図」など大正から昭和初期に描かれた鳥瞰図は、外観を挿し絵で表現した名所旧跡などを紹介するだけでなく、立体的に表現された地形が見どころとなっており、これらが生み出された時代背景を人文科学的、地形表現を自然科学的なアプローチで迫ります。	
定員・参加費	20 名・無料（通常 大人 520 円等）
申込方法	博物館ウェブサイトの申込フォーム（URL:https://nh.kanagawa-museum.jp/）で 8 月 9 日（土）まで （お問合せ）神奈川県立生命の星・地球博物館　リレー係 宛　Tel.0465-21-1515

第 359 走	9 月 10 日(水)　10:00～12:00　【箱根ガラスの森美術館】
今回のミュージアム・リレーでは、特別企画展「軌跡のきらめき」をご案内いたします。虹色のきらめきを放つ約 2000 年前の古代ガラスや日本から海外に輸出された螺鈿・青貝細工をはじめ、玉髄やオパールなどの貴石の色彩を表現した様々なヴェネチアン・グラスを合わせてご紹介します。自然と職人の技が合わさって生み出される色彩の神秘の世界をお楽しみください。	
定員・参加費	40 名・1,000 円（解説付き）（通常 大人 1,800 円）　※駐車料金 500 円　無料の第 3 駐車場も近くにあります。
申込方法	メール（hakone-gakugei@ukai.co.jp）で 8 月 27 日（水）まで　箱根ガラスの森美術館　ミュージアム・リレー係 宛 （お問合せ）Tel.0460-86-3111

第 360 走	9月 19 日(金)	
10:00～12:00　【小田原城天守閣】		**13:30～15:00　【小田原市郷土文化館】**
小田原城天守閣の館内では、小田原城の歴史や歴代城主などについての展示をしています。最上階では江戸時代の天守にあった摩利支天像を祀る空間を再現しており、また、展望回廊では、小田原の市街地や相模湾などの景色をご覧いただけます。今回は、小田原城天守閣の展示を中心にご案内します。(※入城及び各階への移動は階段のみです。)		豊かな自然環境を背景に、旧石器時代から現代までの悠久な歴史をもつ郷土小田原の歴史を今に伝える博物館です。歴史的・民俗的環境から生まれた郷土資料を収集・保管・展示するとともに郷土文化向上に資する活動を行っています。当日は展示をご覧いただき悠久な歴史を肌に感じていただけるように解説付きでご案内します。
定員・参加費	10 名・無料（通常 大人 510 円）	10 名・無料
申込方法	電話かメールで 9 月 17 日(水) 17 時まで Tel.0465-23-1373　小田原城総合管理事務所 メール:odawara-castle@city.odawara.kanagawa.jp	電話で 8 月 12 日（火）～9 月 18 日（木）まで Tel.0465-23-1377　小田原市郷土文化館

第 361 走	10 月 1 日(水)	
10:00～12:00　【箱根関所】		**13:30～15:30　【神奈川県立恩賜箱根公園】**
箱根関所は、江戸時代に「東海道」の往来を監視する役割を担い、江戸幕府を支えた交通の要でした。現在は、幕末に大規模改修された際の史料や発掘調査の成果に基づき、当時の環境を高度に復元したもので、日本遺産「箱根八里」を構成するひとつでもあります。関所スタッフの解説とともに、一般公開していない建物の内部までご案内いたします。「一歩足を踏み込めば、そこはまさしく江戸時代！」 当時の旅人気分になって、ご堪能ください。皆様のご参加をお待ちしております。		神奈川県立恩賜箱根公園は、皇族の避暑や海外からの賓客をもてなすために明治 19 (1884)年に造営された「箱根離宮」の跡地に広がる公園で、園内には今もなお、箱根離宮「西洋館」の礎石や門柱頭装飾、二百階段などの遺構が残されています。また、箱根屈指の眺望スポットでもあり、すっきりと晴れた日には、手入れの行き届いた庭園から富士山と芦ノ湖の絶景をお楽しみいただけます。当日は園内をゆっくり散策しながら、公園の様々な魅力についてご案内します。
定員・参加費	20 名・無料（通常 大人 500 円）	20 名・無料（解説付き）　※恩賜箱根公園駐車場は有料
申込方法	電話かメールで 9 月 29 日(月)まで Tel.0460-83-6635 メール　sekisho@town.hakone.kanagawa.jp	電話かメールで 9 月 30 日（火）16:30 まで　Tel.0460-83-7484 メール　onsi-hakone@kanagawa-park.or.jp

第 362 走	10 月 24 日(金)　10:00～12:00　【真鶴町立遠藤貝類博物館】
当館は県立真鶴半島自然公園の先端にあり、真鶴町出身の貝類研究家である 故 遠藤晴雄氏が収集した 4,500 種 50,000 点に及ぶ貝類の標本を中心に、海の生物に関する展示を行っています。中でも、真鶴の磯を再現したジオラマや「生きた化石」と呼ばれる 27 種類のオキナエビス類の展示は当館ならではです。貝類を通して、海の生物の多様性と自然の不思議を一緒に学びましょう。	
定員・参加費	20 名・無料（通常 大人 300 円）
申込方法	電話で 10 月 21 日（火）まで（毎週水・木曜は休館日）　Tel.0465-68-2111

第 363 走	11 月 7 日(金)　10:00～12:00　【箱根神社宝物殿】
箱根神社宝物殿は所蔵する宝物資料の展示を通して箱根神社の歴史と文化を紹介しています。当日は、常設展と共に企画展『武士の鑑と箱根信仰ー曽我兄弟・赤穂義士・荒木又右衛門』が開催されています。本展では曽我兄弟ゆかりの太刀「微塵丸」と「薄緑丸」をはじめ赤穂義士全員の姿を描いた歌川国芳の全 51 点揃の「誠忠義士伝」や大石内蔵助が所持した「預置候金銀請払帳」など貴重な宝物類を展示しています。	
定員・参加費	20 名・350 円（通常 大人 500 円）
申込方法	電話で 10 月 31 日（金）まで　Tel.0460-83-7123

第 364 走	11 月 21 日(金)	
10:00～12:00　【箱根町立郷土資料館】		**13:30～15:30　【小田原文学館】**
箱根が湯治場から国際的な温泉観光地へと移り変わっていく江戸時代以降の様子を、温泉開発や交通網の整備などを絡めて紹介しています。ミニチュアの「わらじ作り」体験ができるコーナーもありますので、お立ち寄りの際はぜひチャレンジしてください。 今回は、富士屋ホテル創業や温泉村の初代村長を務めた山口仙之助をテーマにした企画展「山口仙之助と明治時代の温泉村」（仮）を中心に解説します。		小田原出身の北村透谷・牧野信一・尾崎一雄・川崎長太郎ら、一時小田原で暮らした谷崎潤一郎・三好達治・坂口安吾らゆかりの文学者を紹介する本館、大正 7 年以降 8 年間に及ぶ北原白秋の小田原での童謡創作等の事績を顕彰する別館 白秋童謡館、市内曽我谷津から部分移築した尾崎一雄の『冬眠居』からなります。本館・別館は明治期に宮内大臣等を務めた政治家 田中光顕の旧別邸（本館の設計は曾禰達蔵）で、国の登録有形文化財、庭園の一部は日本の歴史公園 100 選に選定されています。
定員・参加費	15 名・無料（通常 大人 300 円）	20 名・無料（通常 大人 250 円）
申込方法	電話で 11 月 13 日(木)まで　Tel.0460-85-7601	電話で 10 月 15 日(水)～11 月 19 日(水) 17 時まで Tel.0465-49-7800　小田原市立中央図書館

第 365 走	12 月 4 日(木)　10:00～12:00　【箱根ラリック美術館】
フランスを代表するジュエリーとガラスの工芸家 ルネ・ラリック（1860-1945）の生涯を辿るコレクションを展示しています。当日は、七宝の技法を用いた色鮮やかな宝飾品や、目には見えない香りをボトルの造形で表現した美しいデザインの香水瓶、ガラスの花器、空間をガラスで演出した装飾パネルや噴水など、約 230 点の作品をご覧いただけます。ジュエリーとガラス工芸の両分野で新たな境地を切り拓いたラリックの創作姿勢や想いについても、スタッフがわかりやすく解説します。	
定員・参加費	30 名・800 円（通常 大人 1,500 円）
申込方法	往復葉書で 11 月 19 日（水）必着 〒250-0631 足柄下郡箱根町仙石原 186-1　箱根ラリック美術館ミュージアム・リレー係　宛　Tel.0460-84-2255

第 366 走	12 月 12 日(金)	
10:00～12:00　【おだわら諏訪の原公園】		**13:30～15:30　【小田原市尊徳記念館】**
里山の自然や地域文化とのふれあいを通じて、遊びながら学ぶ喜び、発見できる喜びを体験できる「ふるさとふれあい公園」です。クラフトコーナーのあるパークセンターや芝生の広場、眺望抜群の展望台、169mのローラー滑り台、果樹園などがあります。また、未病を改善する取り組みを気軽に実践いただける「未病いやしの里の駅」の運動の駅として、毎日のラジオ体操や運動イベントを続けています。当日はミカンを中心とした柑橘類のガイドツアー、収穫体験などを実施します。		当館は、二宮尊徳翁（二宮金次郎）および報徳仕法の顕彰・普及を目的としてつくられた施設です。尊徳翁の生誕地栢山に位置し、敷地内に翁の生家やジオラマ、生涯を解説する展示室があります。また、当館の周辺には、翁にまつわる史跡や、顕彰のモニュメントが複数あります。当日は学芸員によるミニ講座と展示室・周辺史跡の見学を行います。
定員・参加費	10 組・500 円（１組）（通常　1 組　1,000 円）	30 名・無料（通常 大人 200 円）
申込方法	電話で 11 月 12 日（水）10 時～　先着順 Tel.0465-34-0404（８:30～17:30）	電話で 11 月 10 日（月）～12 月 10 日（水）まで Tel.0465-36-2381

第 367 走	2026 年 1 月 23 日(金)　10:00～12:00　【MOA 美術館】
MOA 美術館は熱海市の高台にあり、相模灘が眺望できる美術館。展示空間は世界的に活躍するアーティスト・杉本博司がデザインしました。当日は、「光る海　吉田博」展を学芸員が解説します。吉田博は、近代風景画家の第一人者で、「水を描かせたら右に出るものはいない」と評されています。本展では、刻々と変化する海をとらえた「瀬戸内海集」シリーズや、合計 7 年間を超える外遊から生まれた「米国シリーズ」、「欧州シリーズ」など、木版画の代表作約７０点を展観します。 今回は、担当学芸員による美術セミナーを行います。	
定員・参加費	20 名・1,300 円（通常 大人 2,000 円）
申込方法	往復葉書で 1 月 16 日（金）必着　〒413-8511 熱海市桃山町 26-2　MOA 美術館 ﾐｭｰｼﾞｱﾑ･ﾘﾚｰ係 宛　Tel.0557-84-2511

第 368 走	2 月 13 日(金)	
10:00～12:00　【小田原フラワーガーデン】		**14:00～15:30　【松永記念館】**
四季折々の花が楽しめる小田原フラワーガーデンの 2 月は、梅の季節です。公園の約半分の面積（約 2ha）に広がる「渓流の梅園」は、約 300 品種 500 本の梅が植栽されており、梅の品種は県内最多数を誇ります。 当日は梅のマメ知識や品種ごとの見所が分かる「渓流の庭園ガイドツアー」や、約 300 種類の熱帯植物が楽しめる「トロピカルドーム温室ガイドツアー」を行います。また、すっぱいレモンが甘くなる！？不思議な果実体験「ミラクルフルーツ体験」も行います。		戦前・戦後を通じて「電力王」と呼ばれ、今日の電力体制を創り上げた実業家で、数奇茶人としても高名であった松永安左エ門（耳庵）が設立した記念館です。松永翁ゆかりの資料のほか、四季折々の草花が美しい庭園（「日本の歴史公園 100 選」）や翁が晩年を過ごした邸宅・老欅荘（国登録有形文化財）が見どころです。当日は、耳庵が晩年を過ごした老欅荘などを解説付きでご案内します。
定員・参加費	20 名・200 円（通常 大人 500 円）	10 名・無料
申込方法	電話で 2 月 12 日（木）17 時まで Tel. 0465-34-2814	電話で　1 月 13 日（火）～2 月 12 日（木）まで Tel.0465-23-1377　小田原市郷土文化館

第 369 走	2 月 27 日(金)　13:15～14:45　【神奈川県立生命の星・地球博物館】
地球の誕生から現在までの 46 億年にわたる歴史と生命の多様性をわかりやすく、巨大な恐竜やいん石から豆粒ほどの昆虫まで 1 万点にのぼる実物標本を展示しています。当日は企画展「自然史のアーカイブズ展（仮称）」を学芸員がご案内します。博物館には第一線の研究者やナチュラリストらが作った資料が残されています。研究の過程で生み出された生物画、フィールドノート、手紙、写真フィルムなど標本以外の知られざる資料を紹介し、それらを保存する意義についても考えます。	
定員・参加費	20 名・無料（通常 大人 520 円等）
申込方法	博物館ウェブサイトの申込フォーム（URL:https://nh.kanagawa-museum.jp/）で 2 月 14 日（土）まで （お問合せ）神奈川県立生命の星・地球博物館　リレー係 宛　Tel.0465-21-1515

第 370 走	3 月 6 日(金)	
10:00～12:00　【二宮町ふたみ記念館】		**14:00～16:00　【町立湯河原美術館】**
ふたみ記念館は、二宮が生んだ異才の洋画家「二見利節（ふたみとしとき）」の記念館で、利節の生誕 100 年を記念して 2011 年 10 月に開館しました。利節は、小田原在住の画家「井上三綱（いのうえさんこう）」に指導を仰ぎ、油絵の制作を続けていましたが、その旺盛な創作意欲は油絵にとどまることなく、あらゆる技法や画材へと展開されていきます。当日は、利節の生涯や作品について解説いたします。		当館は、明治期に創業した老舗旅館の建物を改装してできた美術館です。旅館には竹内栖鳳、夏目漱石、安井曾太郎など多くの文人墨客が滞在し、収蔵品はその歴史に由来しています。コレクションのもうひとつの中核が、現代日本画家・平松礼二の作品です。平松作品を紹介する「平松礼二館」、制作の様子がうかがえる公開アトリエや資料室があります。当日は、コレクション展とともに近代日本画の革新者、川端龍子を取り上げた特別展を学芸員がご案内します。
定員・参加費	20 名・無料（通常 一般 200 円）	15 名程度・400 円（通常 大人 600 円）
申込方法	電話で 1 月 28 日（水）から 2 月 27 日（金） 16 時まで　Tel.0463-70-3210（ふたみ記念館）	電話で 3 月 5 日（木）まで　Tel.0465-63-7788

主催：神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会（通称 WESKAMS）
（事務局）：神奈川県立生命の星・地球博物館　企画普及課　〒250-0031 小田原市入生田 499　Tel.0465-21-1515